

其ノ一 事件ノ真相

一、本事件ハ林集團主腦部が「インパール」攻略失敗ノ最
後ノ責任ヲ烈兵團長佐藤中將ニ轉嫁セントシ
テ殊更ニ事實ヲ捏造シテ虚構シタルモノナリ

二、烈兵團ハ數百發ノ砲彈ノ外何等ノ補給ヲ受クルコト
ナク六旬ニ亘リ「ゴヒマ」ニ於テ勇戰敢闘ノ限リヲ盡シ
刀折レ矢盡キ糧全ク絶エタル後六月三日轉進行動ニ移
リ師團司令部ハ六月二十日夜「ロンシヤン」南方ニ於テ軍參
謀長ノ來ルニ會ス軍參謀長ノ提示セル要求ハ宮崎支隊
ニ對スル歩兵三大隊砲兵一大隊ノ配屬九百人ヲ以テスル補

給隊ノ差出シ「サンジャック」西南方山地ヨリスル「インパール」攻
撃等當時ノ情况ニ於テハ有ユル不可能ナル難問題ヲ包含
スルモノナリ 當時ニ於ケル烈兵團ハ二千ノ患者ヲ帶同シツ
既ニ飢餓ノ極ニ達シ斃ルル者續出シ師團ノ長経約
百料ニ亘リ各部隊間ノ連絡絶エアリ 從ツテ補給ヲ
受ケ集結スルニアラザレバ實行不可能ナルモノナルニ鑑ミ軍參
謀長ト烈兵團參謀長以下參謀トノ會談竝ニ烈兵團長
ト軍參謀長トノ會談ニ於テ軍參謀長ガ良ク之ヲ諒解
シテ「フミネ」方面ニ於ケル補給ヲ承認スルト共ニ當時ノ戰
況及烈兵團ノ全ク疲カナキ實狀等ヨリ烈兵團ヲ「サンジャ

ツク」方面ヨリ作戰セシムル事ハ不可能ナルコトノ結論ニ到着
シニテ急遽「クンタン」軍司令部ニ歸還シ新烈兵團
ヲ「ミンタ」ニ集結スベキ命令ヲ下達セルモノナリ

右命令ハ二十三日朝翻譯濟ミノモノヲ兵團長が受領セリ
軍命令ノ要旨ハ烈兵團ハ患者ヲ「フミネ」兵站病院ニ
殘置シ「ミンタ」ニ集結スベキコト並ニ作戰主任參謀ヲ
軍司令部ニ派遣スベキコト等ノ要求ナリ

右軍命令ニ依リ軍ハ明カニ二十日夜軍參謀長ノ提
示セル要求ヲ撤回セルモノナル事ハ些ノ疑問ノ餘地存
セザル所ナリ殊ニ參謀派遣ノ督促ヲ受ケ兵團長

ハ之ニ對シ當時飢餓ニ依リ斃ルル者續出ノ狀況ニ
鑑ミ之ガ猶豫ヲ電請セルコトサヘアリタル程ナリ
今回事件ノ發端ハ六月二十八日附ニテ林集團司
令部ヨリ森集團司令部ニ電報報告セルコトヨリ發
生シタルモノナリ

當時衆兵團ノ右突進隊ハ十一日「ミッシヨン」ニ撤收
以來引續キ「ウクルル」ニ向ヒ撤退中ナルト宮崎支隊ノ
狀況ハ十九日「マラム」ニ於テ敵機械化部隊ニ突破セラ
レ查トシテ消息ナク該方面ノ戰況刻々惡化シ「コヒマ
インパール」道遮斷ノ如キハ思モ寄ラザル戰況ナルト「タム

以北ノ糧秣皆無、實狀ト共ニ烈兵團ノ戦力回復ハ
當分見込立タザル實狀ニアルコトハ、軍ニ於テモ夙ニ承
知シアリ

然ルニ二十六日林集團司令部ハ森集團司令部ヨリ依
然「コヒマ」「インパール」道ノ遮断ヲ繼續スベシ等ノ強硬
要求電報ヲ受領セリ（此ノ電報ハ二十七日朝烈兵團
ニモ通電アリタリ）

茲ニ於テ軍首脳部協議ノ結果「コヒマ」「インパール」道
遮断ノ不可能ナルコト竝ニ「インパール」攻略失敗ノ最
後ノ責任ヲ烈兵團ニ轉嫁スルコトトシ種々研究ノ結

三)

果其ノ方法ニ關シ多少ノ経緯ヲ経テ結局本作戦
最後ノ失敗ガ烈兵團長ガ六月二十日夜軍參謀長ノ
提示セル軍命令ヲ實行セザリシ結果ニ在リトナシニ
日夜下達セル「シタ」集結ノ命令ニ依リ該命令ガ既
ニ撤回セラレタルモノナル事ヲ棚ニ上ゲ抗命ノ重科
ヲ虚構シタルモノナリ

而シテ林主腦部ノ一同ハ軍法會議ノ開催ニ依リ軍
ノ作战指導ノ失態ヲ暴露摘發セラルルヲ怖レ
タル結果更ニ烈兵團長ヲ精神ニ異常ヲ來セシモノ
ナル如ク捏造虚構シ極秘穩密ノ間ニ上司ニ對シ事ヲ